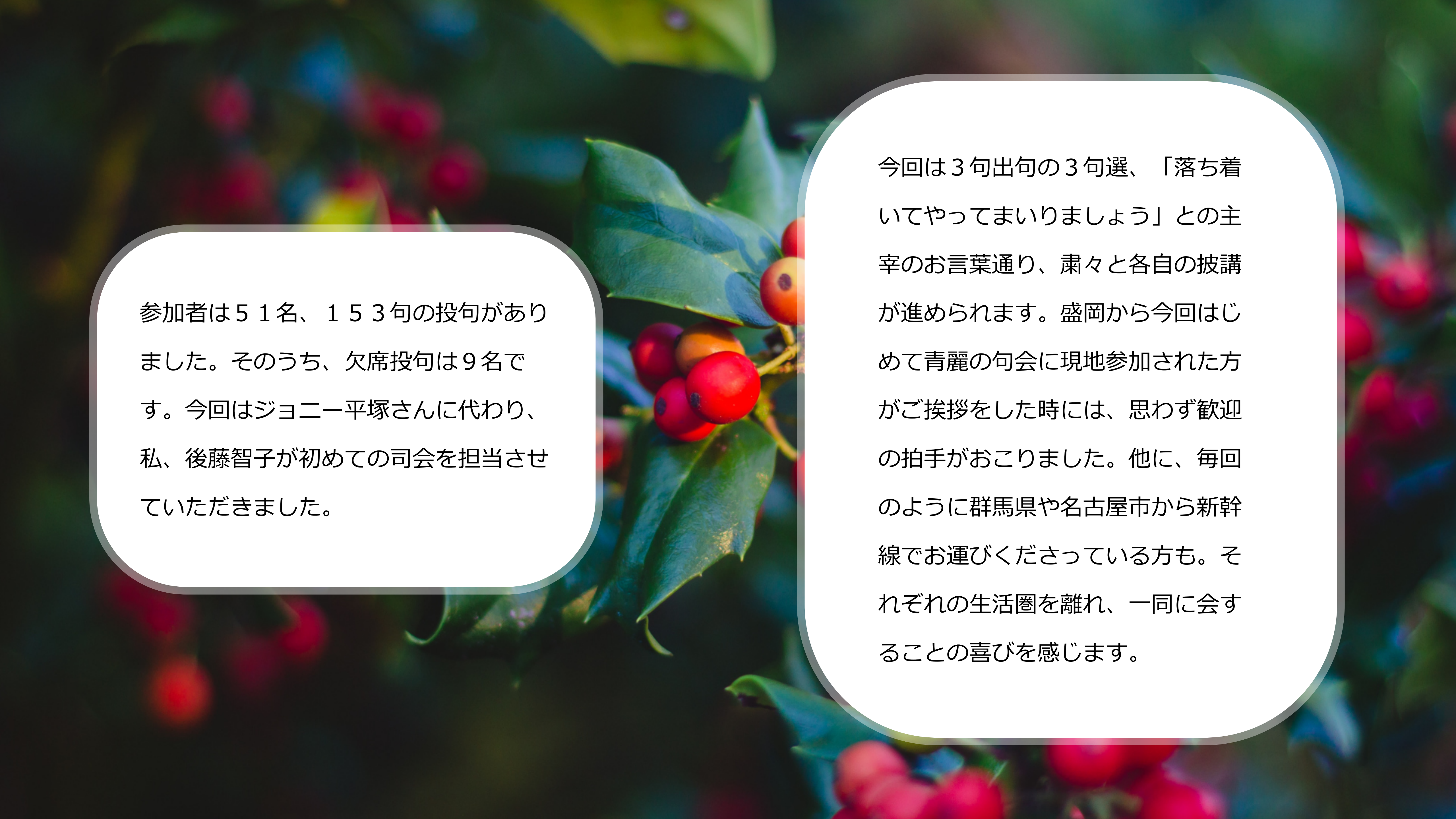


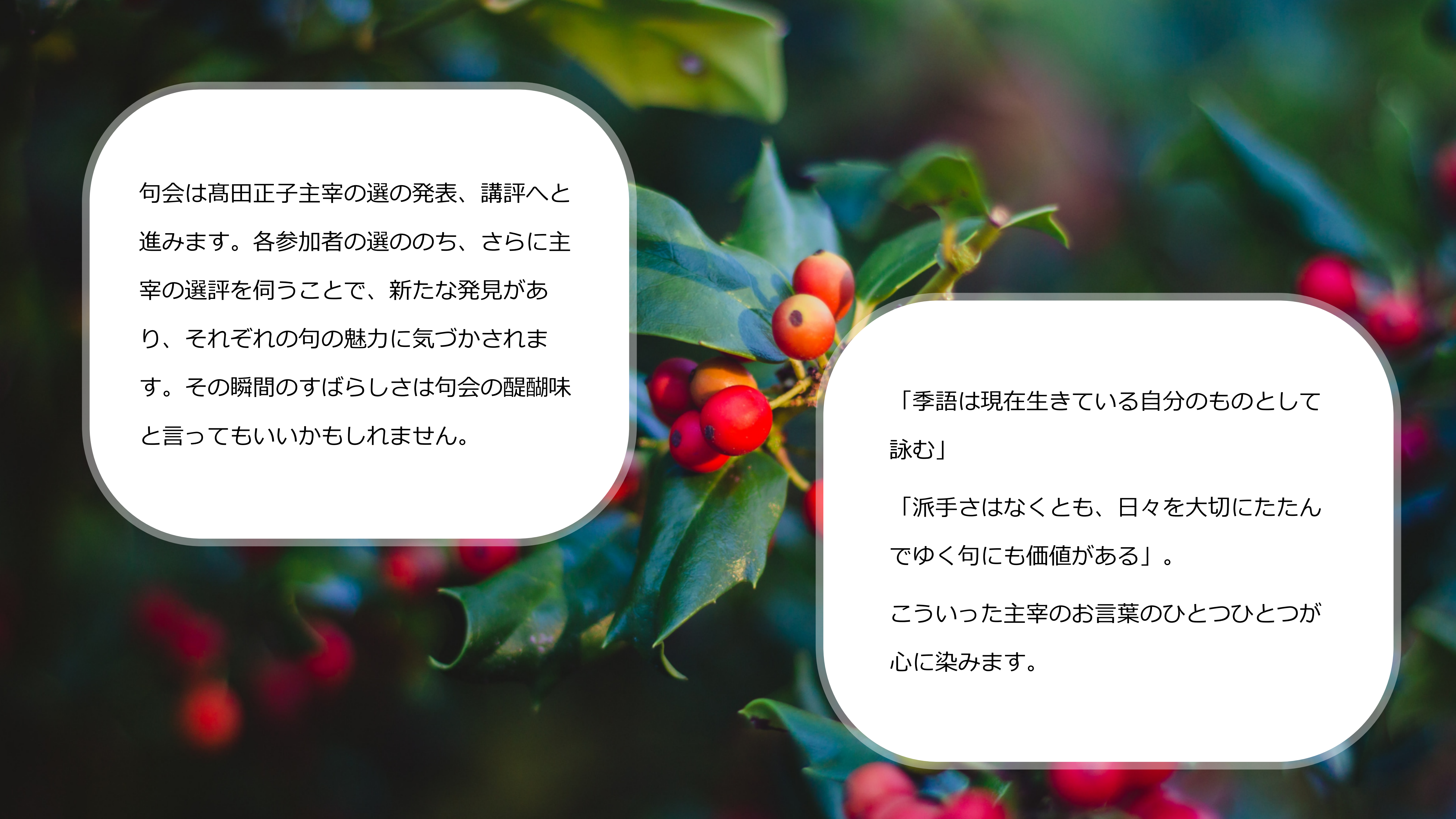
12月カウントダウン句会

12月10日（日）14時から、東京海洋大学品川キャンパス白鷹館において12月カウントダウン句会が開催されました。師走とは思えない暖かさの中、多くの方が集まり、にぎやかな句会となりました。



参加者は51名、153句の投句がありました。そのうち、欠席投句は9名です。今回はジョニー平塚さんに代わり、私、後藤智子が初めての司会を担当させていただきました。

今回は3句出句の3句選、「落ち着いてやってまいりましょう」との主宰のお言葉通り、粛々と各自の披講が進められます。盛岡から今回はじめて青麗の句会に現地参加された方がご挨拶をした時には、思わず歓迎の拍手が occurred。他に、毎回のように群馬県や名古屋市から新幹線でお運びくださっている方も。それぞれの生活圏を離れ、一同に会することの喜びを感じます。



句会が高田正子主宰の選の発表、講評へと進みます。各参加者の選ののち、さらに主宰の選評を伺うことで、新たな発見があり、それぞれの句の魅力に気づかされます。その瞬間のすばらしさは句会の醍醐味と言ってもいいかもしれません。

「季語は現在生きている自分のものとして詠む」

「派手さはなくとも、日々を大切にたたんでゆく句にも価値がある」。

こういった主宰のお言葉のひとつひとつが心に染みます。

句会を通して学んだことを、また次にお会いできる日までそれぞれの場でじっくりと味わいつつ、俳句を人生の杖として歩んでいけたら・・・

次回はいよいよ、1月例会。発足記念パーティーも開催されます。

「青麗」という新しい結社をみなさまとご一緒に作り上げてまいりましょう。

(後藤智子)

